

あなたの手助けが安心につながります



ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車・バス内で席を譲る、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプマークを身に着けた方への配慮の例



公共交通機関で席を譲る

外見では健康にみえても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目でみられ、ストレスに感じる場合があります。



災害時、安全に避難するための支援

視覚障がい者や聴覚障がい者等の状況把握が難しい方、肢体不自由等により自力での迅速な避難が困難な方がいます。

こんなときに役立ちます ~事例紹介~



✓ 義足や人工関節を使っている方

外見からは分からないので、優先席に座っていると注意されたが、ヘルプマークを付けることで、周りの理解が深まり、とても気が楽になった。



✓ 知的障がいのあるお子さん

駅で迷子になった際に、駅員がヘルプマークに気付いてくれ、声かけしながら見守ってくれた。



✓ 聴覚障がいのある方

お店で、シールに「聞こえないので筆談をお願いします」と書いたヘルプマークを見せると、すぐに分かってもらい、ありがたかった。



✓ 発作で倒れた経験のある方

ヘルプマークに緊急連絡先の電話番号を書いておいたため、発作で倒れた際に、救急隊員が気付いて、一命を取り留めることができました。



➡ 問い合わせ先

津別町役場
保健福祉課福祉係(6番窓口)
☎ 77-8381

➡ 費用

無料

➡ 配布場所

津別町役場
保健福祉課福祉係(6番窓口)

➡ 対象者

障がいをお持ちの方、難病の方、妊娠初期の方 など
※外見からは援助や配慮を必要としていることがわかりにくい方

無料でヘルプマークを配布しています

特集

知っていますか

ヘルプマーク



北海道において、援助や配慮を必要としていることが外見からわからない方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなることを目的として「ヘルプマーク」という取り組みを行っています。

ヘルプマークとは？



義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。

ヘルプマークの4つの意義

- ① 本人にとっての安心感
何かあったときに理解してもらえ、手助けしてもらえ、という安心感があります。
- ② 家族、支援者にとっての安心感
緊急連絡先などを本人が携帯していることは、家族や支援者の不安を和らげます。
- ③ 情報とコミュニケーションの支援
緊急時に必要となる情報をあらかじめ備え持つことで、支援者とのコミュニケーションのきっかけになります。
- ④ 障がいに対する理解の促進
ヘルプマークが幅広く知れ渡ること、助けを必要とする人への理解を広めることができます。

助け合いのしるし

